

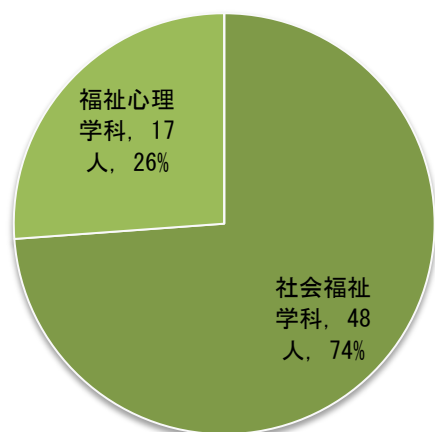
平成28年9月卒業生アンケートより

平成28年9月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の皆さんの学習の励みにしていただけたらと思います。

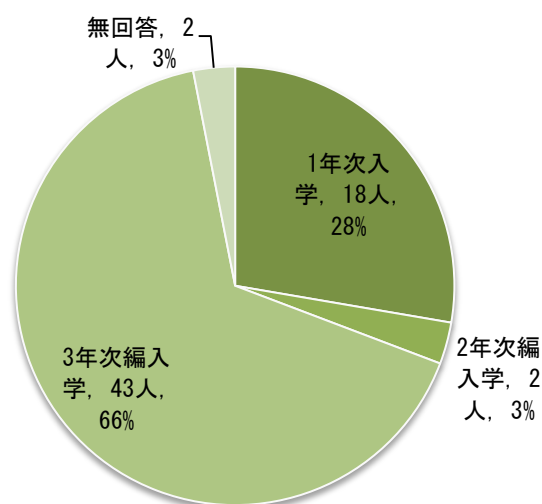
【アンケートの概要】

アンケートの回収状況は、社会福祉学科が48名、福祉心理学科が17名です（卒業生76名中65名、回収率85.5%）。本アンケートにご協力いただいた方の入学月は4月入学が10名、10月入学が55名であり、入学コースは1年次編入が18名、2年次編入が2名、3年次編入が43名、無回答2名でした。

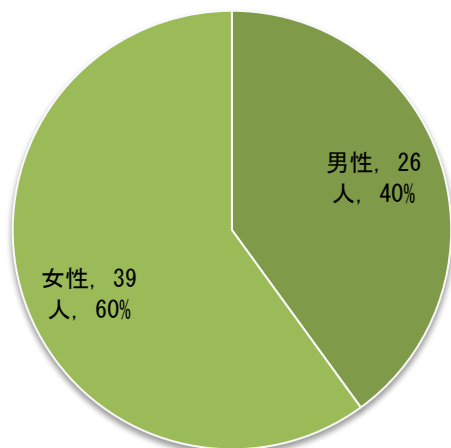
■卒業学科



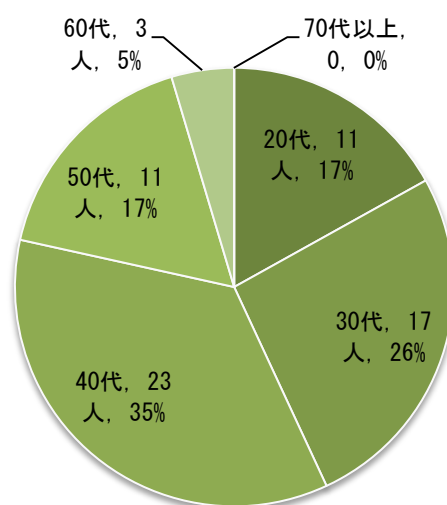
■入学コース



■性別



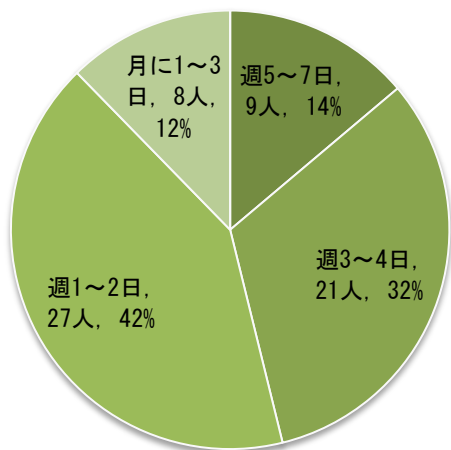
■年齢



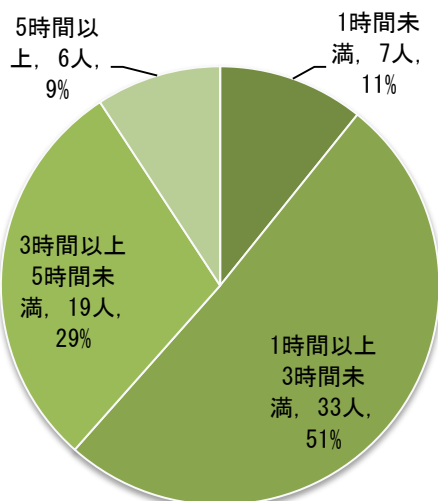
1 【学習全般について】

学習頻度や1日の学習時間、1単位分のレポート作成にかかる時間などは、下記のとおりでした。

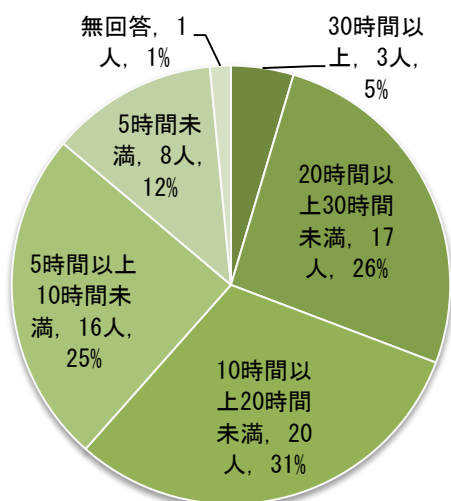
■ 学習頻度



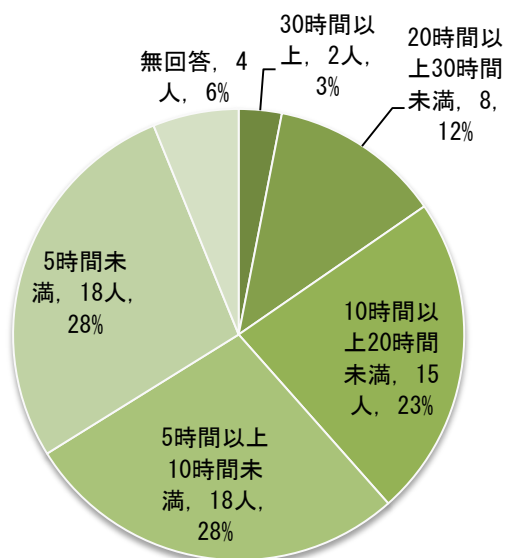
■ 1日の学習時間



■ 1単位分のレポート作成にかかる時間

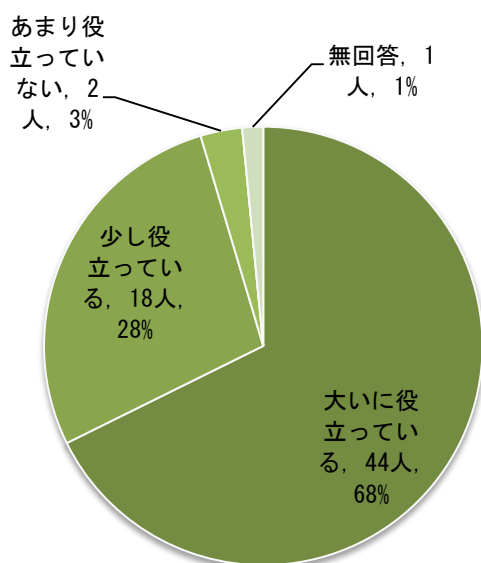


■ 1科目の科目修了試験準備に要する時間



2【本学通信教育部での学習の成果について】

■通信教育部での学習は、職場や家庭などで役立っていますか



■通信教育部での学習は、職場や家庭などで役立っていますか。理由を具体的にご記入ください。

～現在の職場や、地域で役立っている～

- ・現在の職場でケースのかかえる問題解決時に役立っていると思います。
- ・高齢者施設で働いているため、高齢者福祉や障害者福祉で学んだ内容（どのような障害か等の知識）が思い出されることがある。
- ・介護の仕事をしていますが、大学で学んだ事を、すぐ職場で実践し、活用でき、大変役に立ちました。
- ・介護現場において、高齢者との関わり方に影響し、気持ちを理解することに役立っています。
- ・入社したばかりの若い男性が精神障害を抱えてしまい、会社を辞めることになった。その時に、少しばかり彼に寄りそい話を聴いてあげることができた（実習後の出来事です）。
- ・私は、障害者福祉施設で働いています。障害を抱えた方がその人らしく生きるためにどのようなニーズが必要か＝QOL の大切さを学びました。障害を抱えている人も様々ですが、個々の取り巻く問題に解決できる力を微力ではありますが、身につける事ができ、とても役立っております。
- ・今まで福祉の仕事に就き、慣れが出ていたと思う。そのなかで自分の中の"福祉"を再考する事ができた。職場で仕事をし、部下へ"福祉とは"という事を伝える時等、役立っており、通信教育部に通い良かったと思う。
- ・職場内、職場外の研修講師として心理的な側面も含めて伝えることができている。
- ・仕事が従業員の健康管理なので、心理学は役に立っています。
- ・特別支援教育で仕事をしています。支援員や特別支援学校教員免許状を取る為の単位だったので学習したことはすぐに仕事に役立ちました。
- ・精神障害や知的障害者の理解の深まりによって障害者採用の際、人材の見極めの能力が身に付きました。
- ・救命士として救急活動を行うときに、相手の心も考え行動することができるようになった。
- ・現場ではまず当事者ありきが言うまでもなく基本ではありますが、その中で自らの援助観を揺さぶられることばかりなのも現実です。そんな時、貴校での学びがソーシャルワークと私の頂点を結び付け

る指標として、何時も頭の片隅にあり続けています。大学での学びに他なりません。

- ・利用者との関わり方や知識としての病気の理解ができ、職場でとまどう事が少なくなりました。
- ・職場の会議等で自信を持って発言できるようになった。
- ・職場ではどうしても単眼的な思考に陥りがちでしたが、学問として"引き"のアングルで捉えることにより見えてくる物は大きいです。
- ・私は市役所に勤務し、福祉部門は直近では地域福祉の担当でした。民生委員さんや地域福祉に興味のある方を対象とした研修事業を企画し、大学の先生方と一緒に自らも講師を務める機会がありましたが、本学で学習したことが自らの経験を裏打ちする基本的な理論や知識となりました。自信となったばかりではなく、独善に陥らないためには学問的な裏付けが必要であることを実感いたしました。
- ・私は福祉とは全く異なる大学（学部）を卒業し、興味・関心から福祉の世界に入り、福祉の現場で働き始めました。入学するまでは実践を通して様々なことを学んできましたが、自分には基盤となる理論や知識がなく、足元がふわふわしているような感覚の中で働いていて、いつもこのままでいいのか？と疑問を感じていました。今後も福祉に携わっていくのであればやはり福祉の基盤を自分の中に……と思い、本学部への入学を決意し、これまで多くのことを学ばせていただきました。本学部での学びを通して、福祉の理論と知識を得ることは、基盤となる理論と知識があることで、実践が深みを増すということです。どちらか一方だけではなく、両方必要なのだと強く実感しています。引き続き、両方を深める努力をしたいと思います。

～日常生活で役立っている～

- ・まず相手の話に傾聴し、気持ちを受け止め理解しようとする態度は身についたと思う。
- ・考え方ひとつ取ってもかなり変わることができ、人との接し方、仕事のやり方などに役立っている。
- ・家族との関わり方や職場での人間関係について悩んだ時、大学で学んだ心理学の内容が解決のヒントになったり、スクーリングの講義を聴いてはっとさせられたりと、大学で学んだおかげで、自分や他人に対して優しい目で見えるようになった気がします。
- ・大学受験生である娘と一緒に学習する事でお互いの刺激になっていた。

～自身の見方・成長につながっている～

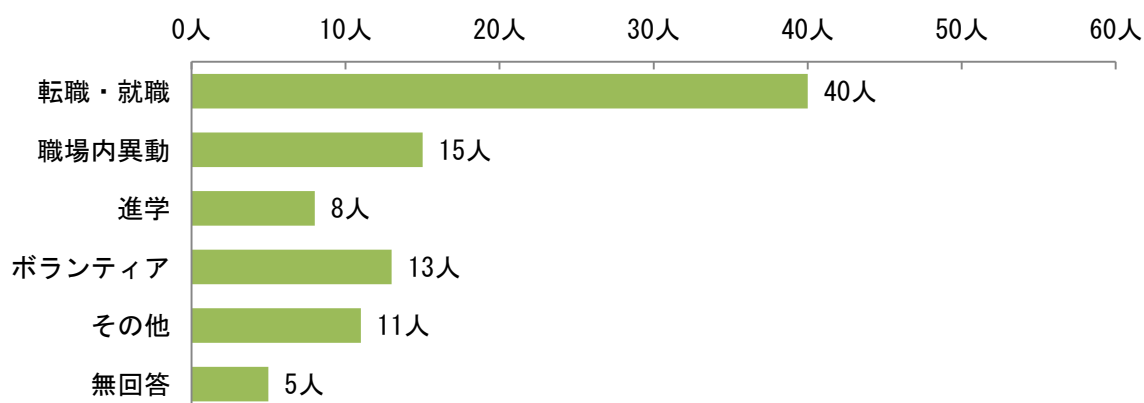
- ・社会福祉とは何か？という根本的な答えを追究しながら、知識と技術を身につけ、実践にのぞむことができた。
- ・福祉に対する理解が深まり、人間として幅が広がったと感じている。虐待や貧困など社会問題について、ただ可哀相と思うのではなく、その背景に目を向け、自分はどう思うのか考えたりするようになり、理解が深まったこと、路上生活者の人に対して、目をそむけるのではなく、どんな人生を過ごしてきたのか、などと考えるようになったこと、などの大きな変化があった。
- ・専門職としての倫理や自己覚知を知ることで、自分自身を保てるようになったこと。
- ・社会福祉の歴史的な背景、時代、社会構造と人々の生活実態。時の為政者層の政策とそれに対する人々の運動……などなど、人権の発展の道筋、発展のための科学としての社会福祉の積み重ねを学べたことは、これからの社会変革・自己改革にとっても力となる基礎力になりました。
- ・自分に対する評価が少し上がった。
- ・”チャレンジせず後悔する事ほど一生悔やむものはない”というほど前進しコミュニケーションができる。
- ・「福祉」を"単なるボランティアの延長線上にあるもの"と曲解していたが、"人の人生に関わっていく

サービス業"として捉えることができるようになった。

- ・在学中は、人との出会いの中で自分をみつめ直すきっかけを得ることができました。
- ・一年生からの孤独な学習でしたが、同じ気持ちで取り組む仲間達や先生たち、通信教育部の方々に励まされ、刺激を受け、全てが勉強になりました。

3【卒業後の進路について】

■通信教育部で得た資格・学んだことを今後どのようにいかしたいですか。



■通信教育部での学習を今後どのようにいかしたいか、具体的にご記入ください

～職場で活かしたい～

- ・年々、社会福祉を取り巻く情勢は厳しいものとなっていきます。そうした中でも社会福祉を必要とする人々は増え続け、ニーズも多様化していきます。現在、勤務している法人で「今やるべきこと」を大切にしながら、あらためて「学び」を深めて行きたいと考えています。1月の国家試験を頑張ります！
- ・各種対人援助技術を、日々のアセスメントや面接の際に頭の隅に置いておくことにより、さらなる利用者さん理解に役立てていきたい。
- ・現在は介護職なので、今後は利用者さんの総合的な支援をできるソーシャルワークの仕事を目指したいと思っています。（ご家族の支援も含めて）
- ・精神疾患をかかえる家族会や患者のつどいなど現在の業務にいかしていきたい。
- ・現在の職場（知的障害を持つ方が通う福祉施設）で実践を積んで、将来的には社会福祉士の資格がいかせる仕事に就きたいと考えています。
- ・現在、ハローワークで働いていますが、その就職支援・生活支援にいかすことはもちろん、来年3月でおそらく退職となるので、その後、長年働いた元の民間団体での仕事にいかしたいと思います。
- ・現在福祉の現場にいますので、すぐの転職にはなりません。経験と知識を活かすことを常に考えていきたいと思っています。
- ・今の仕事（消防士）に活かしていきたい。
- ・現在の対人援助に関する仕事で活用していく。
- ・現在、中学校で生活支援員として働いています。特別支援クラスの生徒の補助、日本語の読み書き困難のある生徒への授業の付き添い保健室登校の生徒との交流など対人援助にいかしていきたい。
- ・アルバイトでやっていたアパレルの販売の仕事の本職にしようと思います。人を思いやる気持ちが増

えたことが大きいです。

～転職・ステップアップに活かしたい～

- ・社会福祉士としてできる仕事に転職します。
- ・相談員への転職を探しているところです。
- ・まずは国試を突破し、資格を生かす職場、職種への希望を達成したい。
- ・今後も、現職場で働きながら、スキルアップに役立てたいです。
- ・まずは社会福祉士の資格を取ることが大事だと思います。もし、合格することができたら、社福士じゃないとできない世界について勉強してみたいです。たとえば、海外青年協力隊とか……今しかできないことをやってみたい。または、これから増えていく、認知症の方の支援とか、地域に出てみたい。
(今現在は施設勤務のため)職場は変えたいような変えたくないような。働きながら自分で「これだ！」というものを見つけれればと思っています。もしかしたら金銭的に余裕があれば、心理学部学んでみたいです。

～地域・社会に活かしたい～

- ・社会福祉士の資格を取得できたならば、社会福祉士会に入会し、さらなる研鑽を通して認定社会福祉士となり、将来自宅に独立社会福祉士として相談援助専門の事務所を構え、地域貢献を図っていききたい。
- ・甚だ微力ではあるが、今後は社会福祉士としてこれまでお世話になってきた地域福祉の一助を狙って行きたいと考えている。
- ・SWはどこにいてもできると学んだことから、例えば日常生活で、差別的な発言を耳にした時に、それは違うよ、ということ、その人に受け入れやすい言葉で伝えたい。その為に、自分自身も磨き続ける努力をしたい。
- ・地域福祉の推進に役立てたい。
- ・私は来春定年退職を迎えます。これまでは行政の職員として、社会福祉主事として福祉の専門職として働くことができました。退職後も福祉の仕事に携わっていきたくと考えておりますが、福祉に関わる意欲だけではなく、社会福祉士の資格を取得し、これまでの経験を活かし、本物のソーシャルワーカーになることを目指します。
- ・現在、「発達障害児・者の親の会」で役員を務めさせていただいている。今まで学んできたことを生かして、親の支援ができれば良いと願っている。転職もそうだが、今は、ボランティア精神で持っている知識を生かしていきたい。

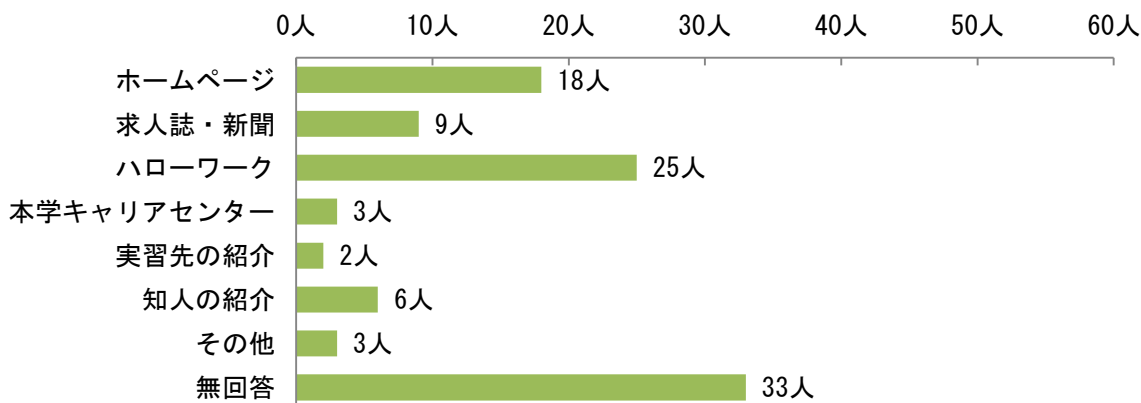
～自身の成長に活かしたい(学び続ける・大学院など)～

- ・大学院に進学し、さらに学びを深めたい。
- ・介護の職場で学んだことを、いかすのはもちろんのことですが、今後福祉(介護)には、終わりがないので、もっと勉強し、できれば大学院に進みたいと思っています。
- ・社会福祉士の資格が取得できたら、次に精神保健福祉士を目指して勉強をしたい。
- ・精神障害者施設の職員をしている(2年前に転職)ので、今後はPSWの資格取得を目指したい。
- ・認定社会福祉士を目指し、常に勉勵を積むためにも、現職以外の分野でのソーシャルワークの強さ弱さを学んでいきたい。
- ・スクールソーシャルワーカーを視野に、臨床心理士養成の大学院を目指しています。臨心と社福士を

併せ持つ人材が皆無の地域なので、ネットワーク作りと理論の個別化、そして実践と5ヵ年計画で形にしていこうと思っています。

- ・学んだことをベースに、カウンセリング技術をさらに学んでいきたいと考えています。

■ 転職・就職活動を行った（行う予定の）方にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか（得る予定ですか）

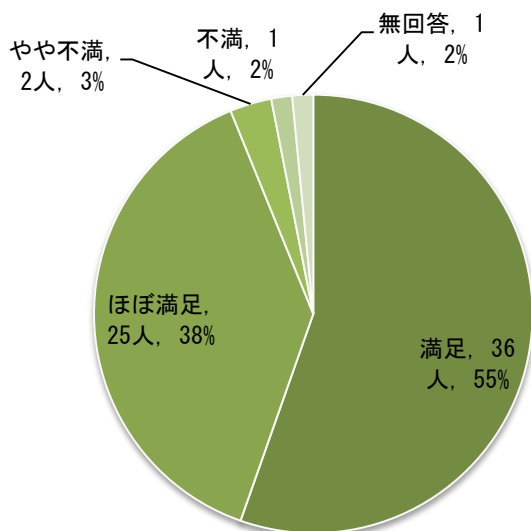


■ 転職・就職等にあたって取り組まれたことを具体的にご記入ください

- ・実習先の紹介を受け、今後面接を受けようか検討中。また、求人ネットワークを活用し、新たに就活を展開していこうと検討中。
- ・職場や面接会等に積極的に参加し、担当者とお話しする機会を設けて頂きました。
- ・ホームページで調べて、面接をしていただきました。内定しました。
- ・直接電話して面接に至った。
- ・首都圏から仙台へ転居後の就活だったため、最初にしたことは車の運転だった。それ以外は特に取り組んだことはなく、巡り合わせで今の職場のスタッフになったと思っている。
- ・障害分野における「ライフサイクル」のかかわりをテーマに、放課後等デイ→就学支援B型・生活介護事業所と転職しました。現在は介護保険の学習を深めながら、トータルライフの支援が担える力を蓄えようと思っています。
- ・知人の社会福祉士の人や施設の見学へ行き、話を聞いている。
- ・転職は今すぐのことではありません。将来的に自身のスキルが向上したと感じた場合、転職することを考えています。今は、現在の職場を続けていきます。
- ・周りの方に希望を語るようにしている他、自分でも探し、さらに通信で学び、医療福祉に広い視野で関わられるよう、学びを深める、学びを続ける。
- ・今後、社会福祉に関わる職場に就職するに当たっては給料や保障等も大切な要素であるが、その職場に一人でも心から尊敬できる指導者がいるかどうかで、本当に大切な場面に立たされた時、その職場で踏み止って奮起できるかを左右する重要な要素であると自分は考えており、就職においてはこの点も勘案しながら進める予定である。

4 【通信教育部での学習について等の全体的な感想】

■あなたは本学通信教育部で学んで満足できましたか



■本学で学んだご感想や通信教育部に対するご意見・ご要望、在学生へのメッセージ

【学びを通じての成長をお寄せいただいた声】

- ・本学で学び、行政の福祉の職員として働いてきて、これまで経験してきたことが、福祉の学問的な意味づけを持って自分の中に再構成されたと思います。大学で勉強する意味を再認識しました。
- ・社会福祉原論をはじめ、各分野の学習を通じて福祉の本質を改めて考える機会を持つことができたのは貴重な体験であったと思います。各先生方のご指導に感謝いたします。
- ・レポート作成のために本や資料などを多く読みました。知識が増えていくと学ぶことが楽しくなってきました。途中で嫌になりやめるのだろうと自分では思っていたのですが、楽しみながら卒業することができました。
- ・スクーリングやレポートなど大変ではあったが、1つ1つを積み上げることをあきらめなかった結果が実ったと実感している。また学ぶ喜び、仲間との連帯感など、得たものがたくさんあった。
- ・他大学で社会福祉士の資格をとり、仕事を進めていく中で心理学を勉強したいという気持ちが強くなり、入学に至った。福祉の職に就くものは心理学は必須だと思った。
- ・レポートを書きながら現場で会う利用者の事が浮かび、考え、学びを現場にフィードバックできるという嬉しさを味わいながらあっという間の2年間だった。""人""をそのままとらえ、向き合える福祉に携わる人間に近づく1歩を教えて頂いた。
- ・素晴らしい先生方の講義を受けることができ、本当に東北福祉大学を選んでよかったと思います。一生の宝物です。職場でも入学前と現在の私の発言等が変化している（視点が変わってきている）、文書力が上がった（レポートのおかげで）などと、良い評価を受けています。これからもさらに高みを目指して勉学に励み、実践につなげたいと思います。
- ・看護師の専門学校での学び、知識のつめ込みとは全く違い、自分で知識としてインプットした事を深く考え言語化するという訓練をした事により、職場でも具体的に表現できるようになった。
- ・国家試験の受験資格を得るための""通過点""として捉えている。しかしながら国家資格を取得し、理論武装しても""心""がなければ意味はないと考える。これからも「自己覚知」「自己研さん」は怠ってはいけなないと考える。

- ・福祉の現状、今後の少子高齢化における課題などについて、自分なりに学ぶことができました。来年1月の社福士の試験に向けて勉強をし、本学で学んだことを活かす場面があれば、役立てたいと考えております。有難うございました。
- ・学ぶこと、知ることはこんなにも楽しいと思える2年間でした。学びとった知識を色あせたものにさせないよう、地元の大学の公開講座等に参加しています。

【目標を見失わずに学友とともに努力しよう】

- ・最初は、続くかな……と不安の中始めましたが、友達ができ相談できたり、友達と会う楽しみがあってあきらめずに最後まで学ぶことができました。本当に楽しく通うことができました。
- ・スクーリングで他の学生さんから刺激を受け、頑張ることができました。また、困った時に電話ですぐ対応してくださった職員さんのおかげで不安に思う事は少なかったです。
- ・6年間かけて卒業でしたが、最後まであきらめず続けて良かったです。今後も大学で学んだことを職場や家庭でいかしていきたいと思います。国家試験頑張ります。在校生の方々、自分のペースで1歩1歩自分の夢に向かって頑張ってください。本当にお世話になりました。ありがとうございます。
- ・通信教育部での学びの中で、多くの方々と知り合うことができました。県内の方、県外の方、そして様々な職業の方たちと語り、学ぶことができたということは、私にとって一番の財産です。これから卒業に向けて学びを深めていく在学生のみなさん、お体を大切に頑張ってください。私は卒業までに6年ほどかかりましたが、卒業した充実感を味わうことができます。皆様とともに私も頑張ります！
- ・最初はむずかしくなかなか進みませんでした。相談できる人もいなかったのも自力で頑張りました。
- ・仕事をしながらで大変でしたが、職場の皆様の対応等により無事に卒業となりましたこと心より感謝いたします。
- ・目標を失わなければ、達成できる事が分かりました。通信は、自分とのたたかいでもあるが、自分の気持ち（思い）さえ、しっかりしていれば、きっと達成できます。大変な思いをした分、達成した時の喜びは大きいです。大学に行って、本当によかったです。ありがとうございます。
- ・働きながらの学びで、スクーリングやレポートの多さに立ち止まってしまうことが何度もありました。しかし、レポートの先生のコメントを見て、先生方は多くの学生を抱えているのに一人一人のレポートをしっかり見てくださっている（一人一人と向き合ってください）と実感できて頑張ろうと再び意欲が持てたり、職員の方々のいつも変わらぬ親身な対応に励まされたりして、くじけそうになる時に、いつもひとりではないと感じられたことで、頑張りぬくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。東北福祉大学の通信教育部はただ資格取得に向けた通過点ではなく、福祉というものを大切に丁寧に深く学べる場所で、福祉に携わっていく上での自分のあり方を考え、見つめ直す良い時間を与えてくださったことにも心から感謝しています。本当にありがとうございました。
- ・通信教育を通じて学ぶ機会を得られたことは、私にとっても、とてもしあわせなことでした！ 卒業に6年間に要したのですが、貴重な学びの6年間でした。「成長と老化が同時進行しながら生涯を通じて連続的に変化していく過程を発達と捉える一生涯発達論」が心底ピッタリときたり、「レクリエーションの権利は、幸福追求権や憲法第25条の健康で文化的な生活の権利に根ざしたもの」との記述に、「なるほど！そうか！」と感心したり、先生からの講評・指導欄で「筆者目線の言葉で真剣に考えた証としてのレポートは読者の心に響きます」との指摘に居住まいや学ぶ姿勢を正されたり。また、同じ通信に学ぶ学友ができ、いっぱい励みももらいながら同時に卒業できることになったりなど、とても豊かな期間でした。ありがとうございます。

- ・私は、目標があつて、大学に入りました。しかし、知的障害をもつ息子が当時、中学2年生で大変な時期ということもあり、テキストも読まずスクーリングに出席しない、レポートは書かない……ことが続きました。正直、中退も考えました。しかし、息子が障害者枠で就労が決まり、親子とも落ち着いた頃、改めて大学に入学した理由、目的を思い出し、3年前より卒業に向けて必死に勉強してきました。途中でやる気を失いかけていましたが、9年かけて卒業することができました。元々勉強ができない私でも「あきらめない力」があれば、卒業できるのだと実感しました。
- ・国試対策をしていただき感謝しています。
- ・オンデマンドシステムはとても助かりました。これからの通信制大学は、Web、E-mailでのやり取りが充実することが求められるのは必然ですので、さらに便利になればと思っています。
- ・スクーリングでは、先生方がわかりやすく教えていただき、毎回多くのことが学べました。レポート提出に苦労しましたが、先生方の助言で、理解することができました。仕事との両立は大変ですが、学ぶ喜びを感じることで、前進できたかと思えます。

【人生のなかでの大学卒業ということ】

- ・震災をきっかけに、入学を決心しました。当初は、なにげない気持ちで入学しましたが、大学での学びを通して一回り成長したような、そんな気持ちです。また、スクーリングや実習先ではかけがえのない体験をさせて頂いたこと、感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。
- ・2年間で卒業することは大変でした。仕事、家事、育児と両立させることがむずかしく、ギリギリの単位での卒業になってしまいました。
- ・私は10年という長い年月を費やしましたが、卒業できました。在学中の方もあきらめる事なく学習して卒業を勝ちとって下さい。応援しています。
- ・心理学に興味を持ったのは20年前。でも、子育てやら家事やら転職やらを言い訳に先延ばしにしていました。一步を踏み出すのに、20年かかりました。2年のところを3年かけて卒業した今、20年前に取り組んでいれば、と思う反面、あの20年がこの3年間を育てたのだ、と思います。要するに、何才になっても第一步を踏み出すのは遅くない、ということです。第一步を踏み出したことに、エールを送ります。
- ・私は高校生のとき、大学受験に失敗し、1年間予備校に通いました。実は、今の福祉大学のところに以前あった、代々木ゼミナールでした。そのときは大学に行くことをあきらめたのですが……こうして通信に通って、その場所で学び卒業することができて、本当に嬉しく思います。金銭面で、通常の大学に通うことは難しかったため、働きながらも通うことのできる大学があつて、本当に良かったです。
- ・高校を卒業し、10年以上経過してからのチャレンジでした。国見キャンパスの風景、スクーリング時宿泊した学生寮の雰囲気、(早朝の空気がおいしかった)、とても便利な東口キャンパス、そしてお世話になった四ツ谷キャンパスの雑然としたあの雰囲気……今となつては全てよい思い出です。ありがとうございました。
- ・短大卒という学歴にコンプレックスをもっていたこともあり、卒業したことで自信を持つことができました。
- ・レポートの先生方の講評・指導が丁寧で感動しておりました。特に人格心理学の皆川先生が、「自己分析」について参考図書を示してくださり、感謝しております。ありがとうございました。
- ・卒業研究をほぼ一年、自宅でのほとんどの時間を使い、頑張りました。卒研にとりくんで倍以上濃い学生経験をしました。ありがとうございました。

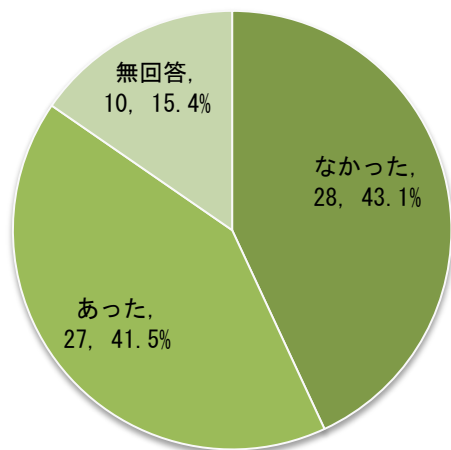
- ・まずご教授いただきました全ての先生方、関係者の皆様に心から謝意を表します。自らの足元にある問題と対峙していくことは、貴校で学んだ知・情・意の醸成、享受が試されていくことであり、これから出会うであろうクライアントとの協働へと繋がっていく有意義なものでなくてはならないと感じています。私の人生の中での4年間、貴校に、社会に貢献できる”黒子”のような社会福祉として尽力していただけたらと思います。本当に……ありがとうございました。

【要望】

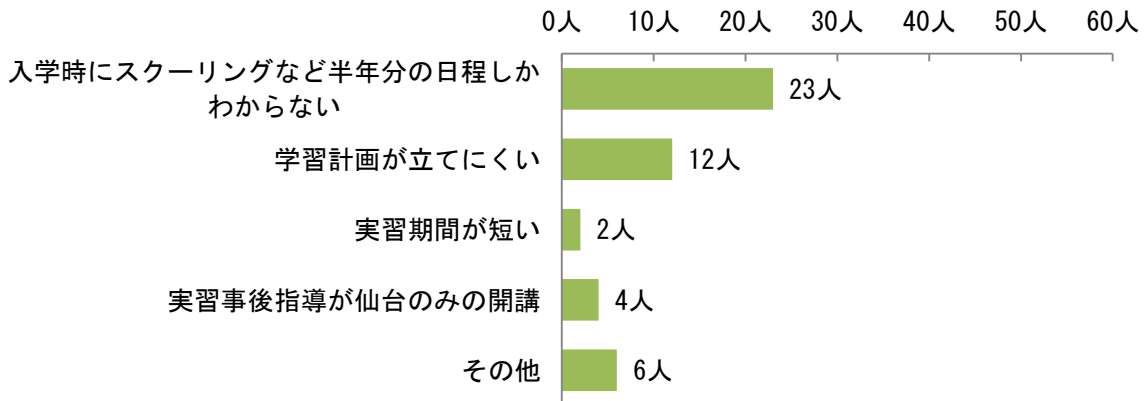
- ・学生が何を望んで入学したのがその目標への把握しやすい形式が今後何か取れる事を期待している。
(卒業までに必要な単位がどれくらいとれていて足りないのか試験等に間に合う時期に教えて下さる等)
- ・通信教育部は様々な資格取得に関することがあり、その中から自分に必要な情報を正確に選び取ることが大変でした。(慣れるまで) 専門的な科目だと東京でのスクーリングがほとんどなかったのもつらかったです。ただオンデマンドはとても役立ちました。
- ・学習の内容については本当に学んでよかったと思う。事務所の対応が、学生に欲しい情報を学生まかせにしている学習の手引きもぶ厚く情報が多すぎて分かりにくい。
- ・卒業研究については、主査、副査等による具体的な御言葉、御講評をレポート以上にいただければよかった。
- ・オンデマンドスクーリングを何度かやっているのですが、もう少し、視聴時間が長いとよかったなと思います。スクーリングの日程、なかなか調整が難しく、少しでも増えるとありがたいです。

5 【10月生の方にお聞きします】

■10月生として学習するにあたって、不便さを感じたことはありましたか。

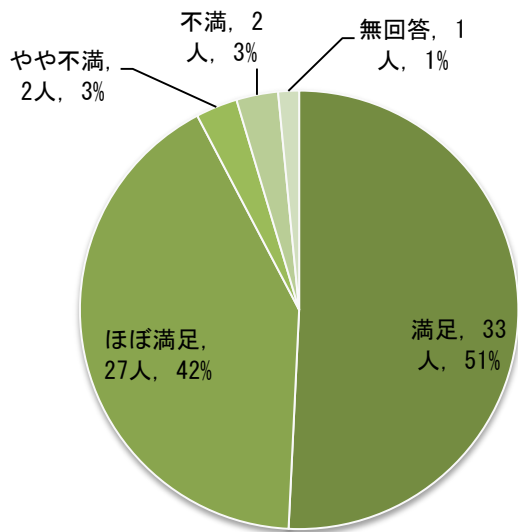


■上記質問で“あった”と回答した方にお聞きします。不便さを感じた具体的内容についてあてはまる項目すべてに回答してください。



6 【通信教育事務部の職員の対応についてお聞きします】

■職員の対応はいかがでしたか

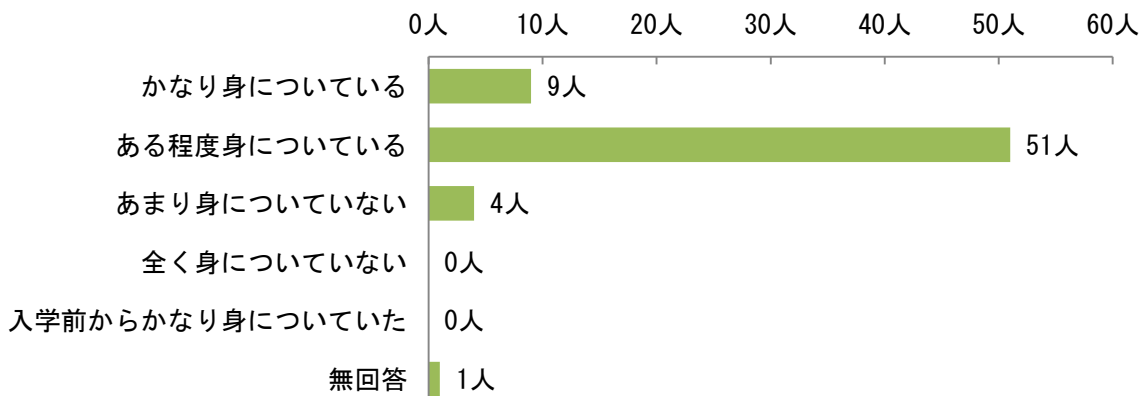


7【自己評定による「学士力」の達成度】

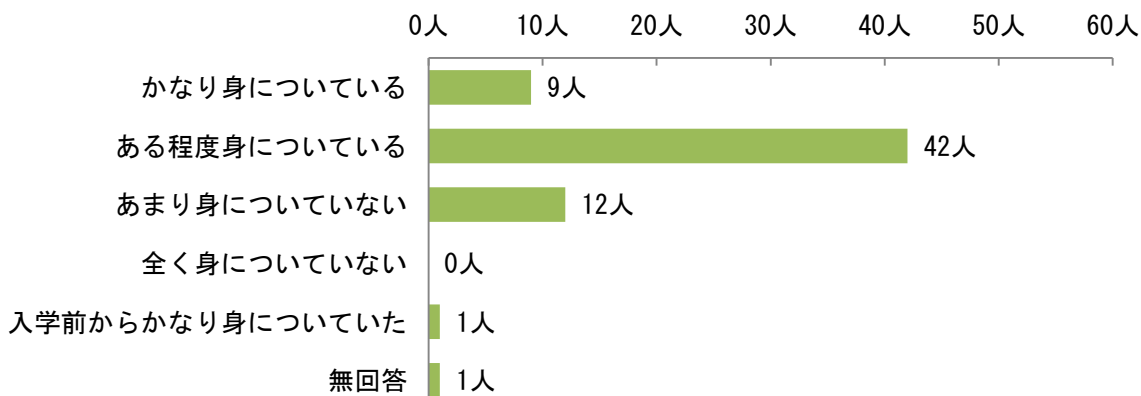
自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びをとおして、現在あなたが身につけていると思うもので、一番あてはまると思うものを一つ選択してください。

①（社会福祉学科の方）社会福祉の意義と機能に関する基礎的知識。

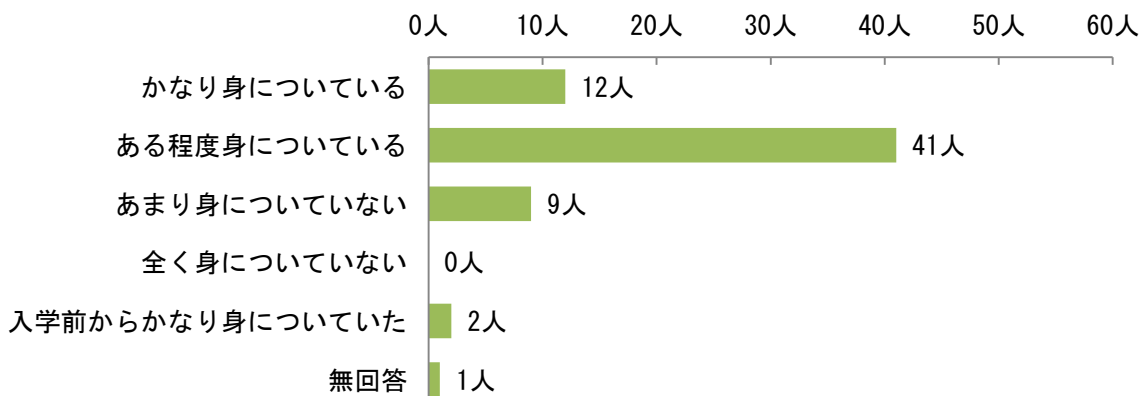
（福祉心理学科の方）人の思考・感情・行動の原理や法則，理論について説明できる心理学の基礎的知識。



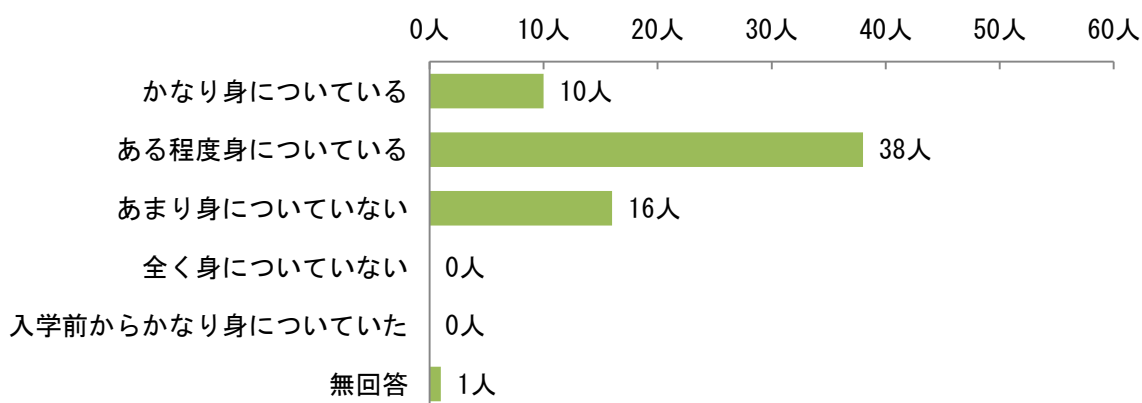
② さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的な問題への支援に利用できるなど現場でいかせる実践的知識。



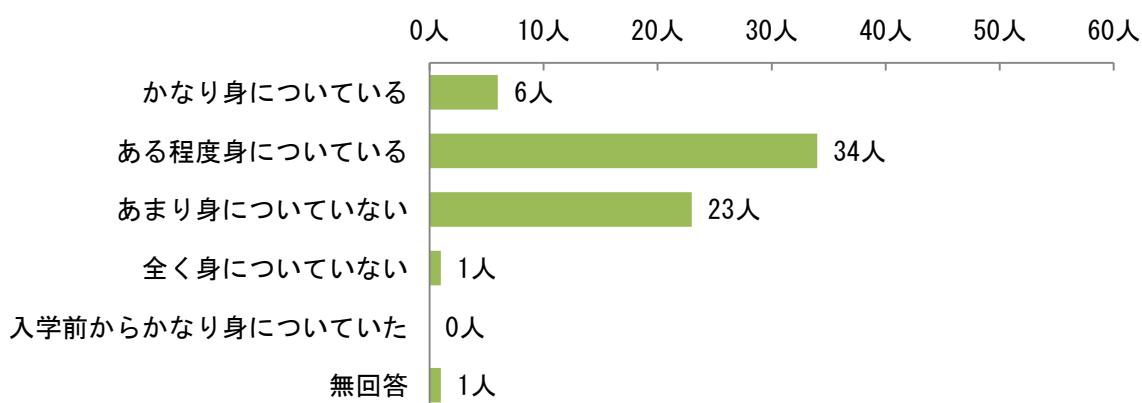
③ 多様な価値観を理解し、自己とは異なる意見や考え方をもつ人々とコミュニケーションをとる力。



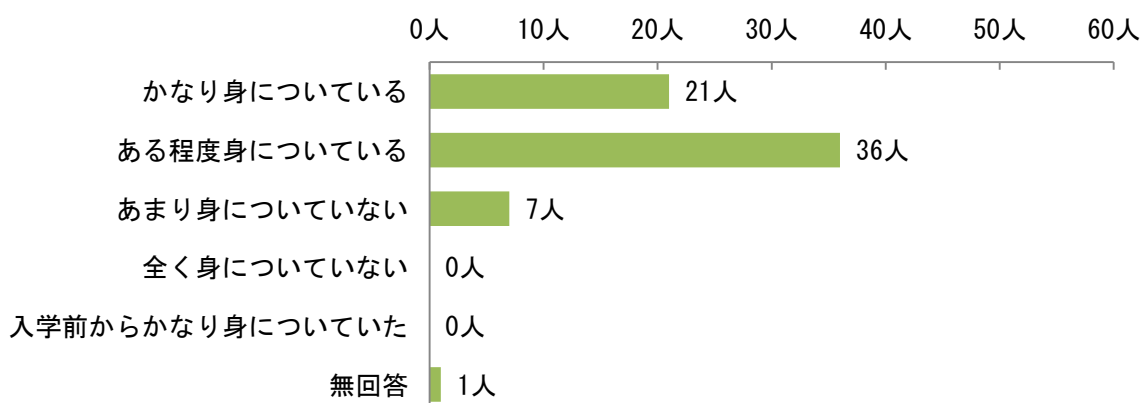
④ 求められるレポートや課題の趣旨を理解し、必要な情報を精査・選択し、わかりやすい文章や言葉で他者に伝える力。



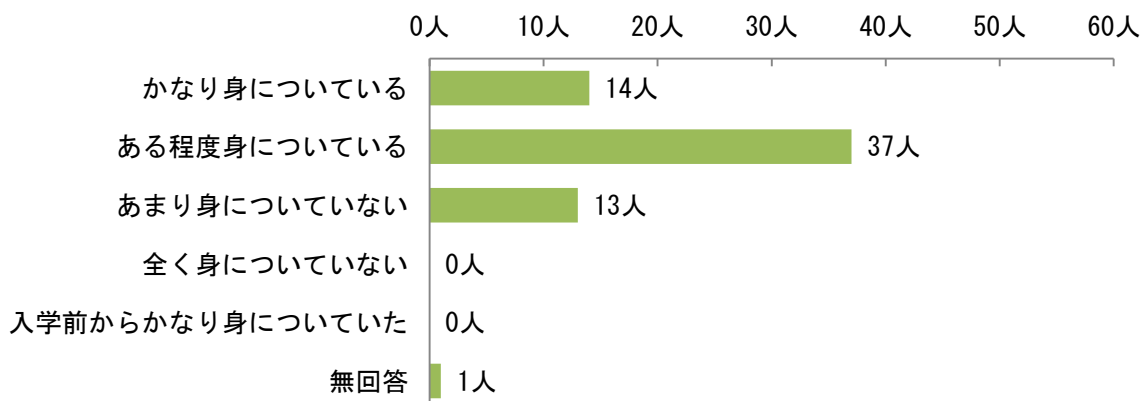
⑤ 根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力。



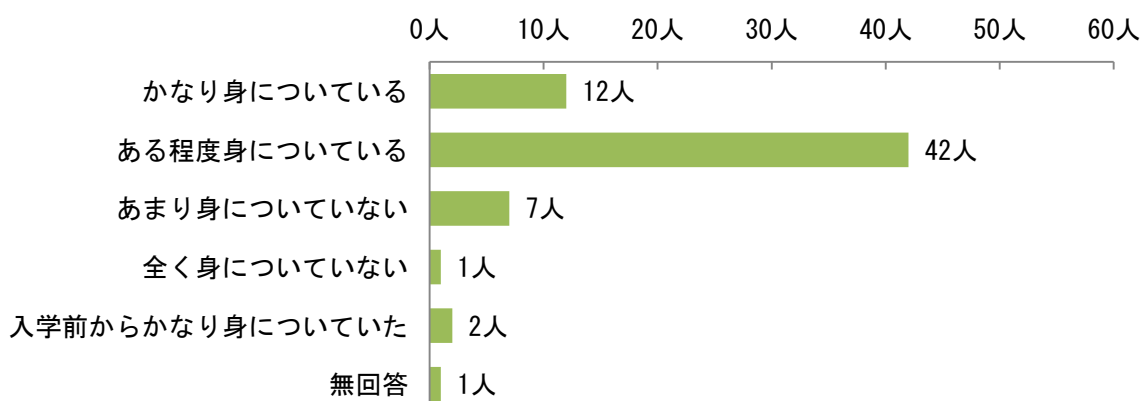
⑥ 参考図書やインターネットなどを用いて必要な情報を収集する力。



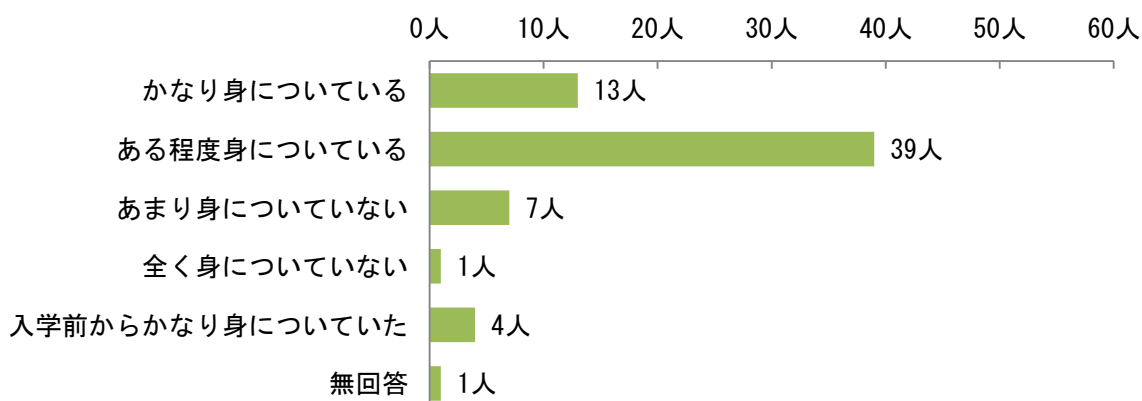
⑦ 自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力。



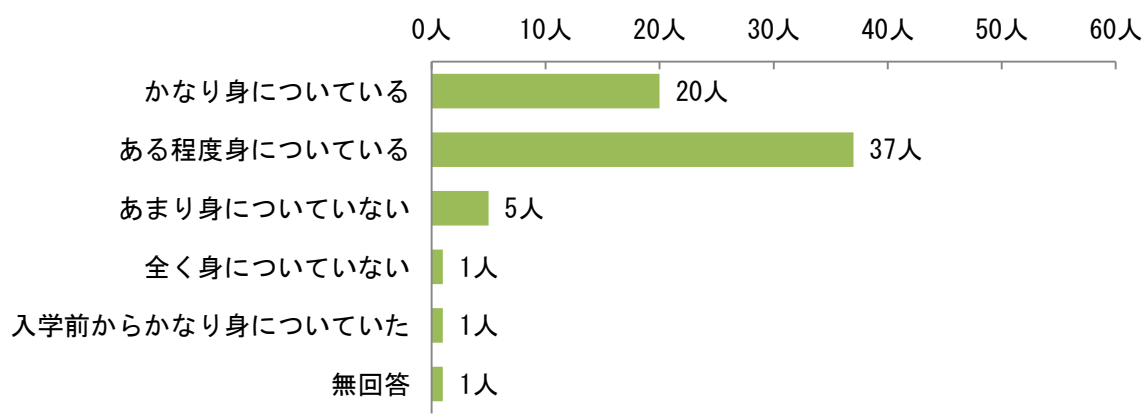
⑧ 時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力。



⑨ 他者に配慮しながら、目標と問題を共有したり、協調・協同して行動できる力。



⑩ 人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢。



⑪ 所属学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力。

